

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		南部地区まちづくり交付金事業進行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也	
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	企画財政課	担当者名	齋藤 正典	
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	政策企画班	(内線)	1245	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input checked="" type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	-
		1	2	1	12	10150			コスト削減優先度評価結果	-
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (16 ~ 20 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】旧合志町で作成した都市再生整備計画に基づき、平成16~20年度の5年間で国からまちづくり交付金を受けて実施する、南部地区の道路改良工事・公園整備・まちづくり活動ソフト事業等の進行管理等を行う。										
【業務の流れ】①交付申請、事務費使途協議、実績報告、翌年度要望など南部地区全体の事務管理をする。②毎月関係課を集めて連絡調整会議を開き、毎月末に契約状況を県へ報告する。③まちづくり交付金事業研究会などに参加し情報収集をする。④県のしゅん工確認検査・完了検査、国の会計検査に対応する。⑤事業最終年度に事後評価を実施する。										
【主な予算費目】人件費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金										

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度で事業終了
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・20年度交付金の交付申請、事務費使途協議、交付金請求、実績報告。 ・まちづくり交付金事業研究会などに参加し情報収集した。 ・事後評価を実施した。(方法書の作成、成果の評価、実施過程の評価、効果発現要因の整理、今後のまちづくり方策の作成、事後評価原案の公表、まちづくり交付金評価委員会の開催、評価結果の報告・公表) ・都市再生整備計画(第2回変更)を変更を行った。	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)件 ア 県への申請、報告、協議等の件数 イ 研修会参加回数
都市再生整備計画	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)本 ア 当該年度の事業本数 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)% ア 当該年度の事業執行率 イ 全体計画に対する事業執行率
計画どおりに進行されている。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)% ア 苦情件数とその対応率 イ 市民一人当たり公園面積
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	
快適な住環境で暮らすことが出来る	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画			
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	16	20 年度		
事業費	国庫支出金	千円			1,000	1,000				総 ト ー タ ル コ ス ト	1,000	
	都道府県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	繰入金	千円										
	一般財源	千円	8,430	8,970	1,774	1,774						26,832
	(A) 事業費計	千円	8,430	8,970	2,774	2,774	0	0	0			27,832
人件費	うち指定経費	千円	0	0	0	0					0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	193	0	0	0					193	
	正規職員従事人数	人	10	10	4	2					26	
	延べ業務時間	時間	800	800	600	750					3,400	
(B) 人件費計	千円	3,176	3,184	2,388	2,985	0	0	0		13,532		
トータルコスト(A)+(B)	千円	11,606	12,154	5,162	5,759	0	0	0		41,364		
活動指標	ア 件 イ 回	28 3	28 2	20 2	8 2						64 7	
対象指標	ア 本 イ	14	10	1	1						41	
成果指標	ア % イ %	100 87.7	100 99.9	100 100	100 100						100 100	
上位成果指標	ア % イ m	100 10.4	100 11.3	100 11.4	100 11.3						100 11.4	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成16年11月12日付けで合志町南部地区の都市再生整備計画(平成16~20年度で実施)が採択され、国庫補助事業である「まちづくり交付金事業」に着手した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・平成17年11月に計画変更を行い、公園東側からの進入路整備事業を追加した。
・平成19年に、公園に隣接して100戸程度の住宅団地が造成され入居が始まった。
・平成19年7月に公園が完成した。
・平成21年3月に計画変更を行った。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
南部地区まちづくり交付金事業事後評価委託結果では、公園の利用者が1日1000人を超えている。また、近隣住民が健康づくりのために散歩道を歩いたり、子どもたちの遊び場になってとても好評である。その反面、夜間は管理棟付近で学生が屯しているという苦情もある。

事務事業名	南部地区まちづくり交付金事業進行管理事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の都市再生整備計画のとおりに行進することにより、結果の快適な住環境で暮らすことが出来るに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 新興住宅地には市外から転入してくる新しい住民が多く、近隣とのコミュニティを形成していくのが難しい状況にある。市として、新興住宅地の住民の憩いやコミュニティ形成の場となる公園を整備するのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 20年度で事業は完了した。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 20年度で事業は完了した。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 20年度で事業は完了している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 20年度で事業は完了した。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 20年度で事業は完了した。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 周辺住民だけでなく、だれでも、いつでも利用できるので公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>				
--	--	--	--	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)